

* 昭和27年版東京天文台「見学の葉」の謎

アーカイブ室新聞第259号(2009年12月16日発行)に「昭和27年版東京天文台「見学の葉」発見」という記事を書いた。今回、「見学の葉 東京天文台職員組合」と書かれた見学の葉を発見して発行年月日を見るとなんと昭和27年11月1日発行 第四版(改訂版)非売品と書かれている。ところが第259号の2009年12月に小川誠治氏から提供された昭和27年版東京天文台「見学の葉」と表紙が違うのである。アーカイブ室新聞第259号の発行年月日が写真1、今回の見学の葉の発行年月日が写真2で、まったく同じなのである。

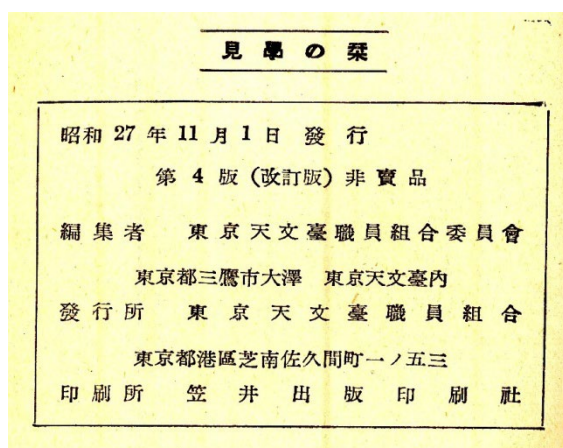


写真1 第259号の発行年月日

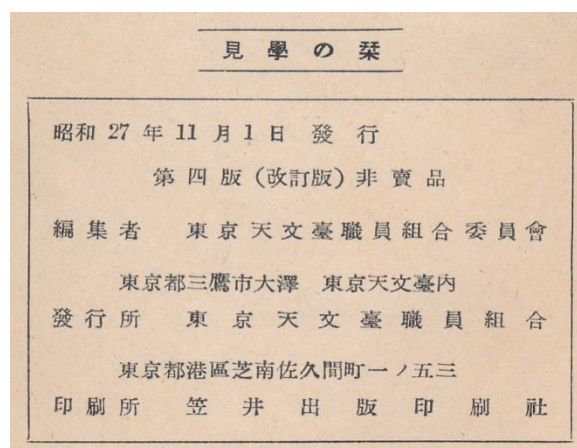


写真2 今回の葉の発行年月日

この2つの表記は印刷が少し違うが記述は全く同じである。ところが、第259号の見学の葉の表紙は写真3であるが、今回発見された見学の葉の表紙は写真4である。



写真3 第259号の昭和27年11月1日発行の「見学の葉」の表紙

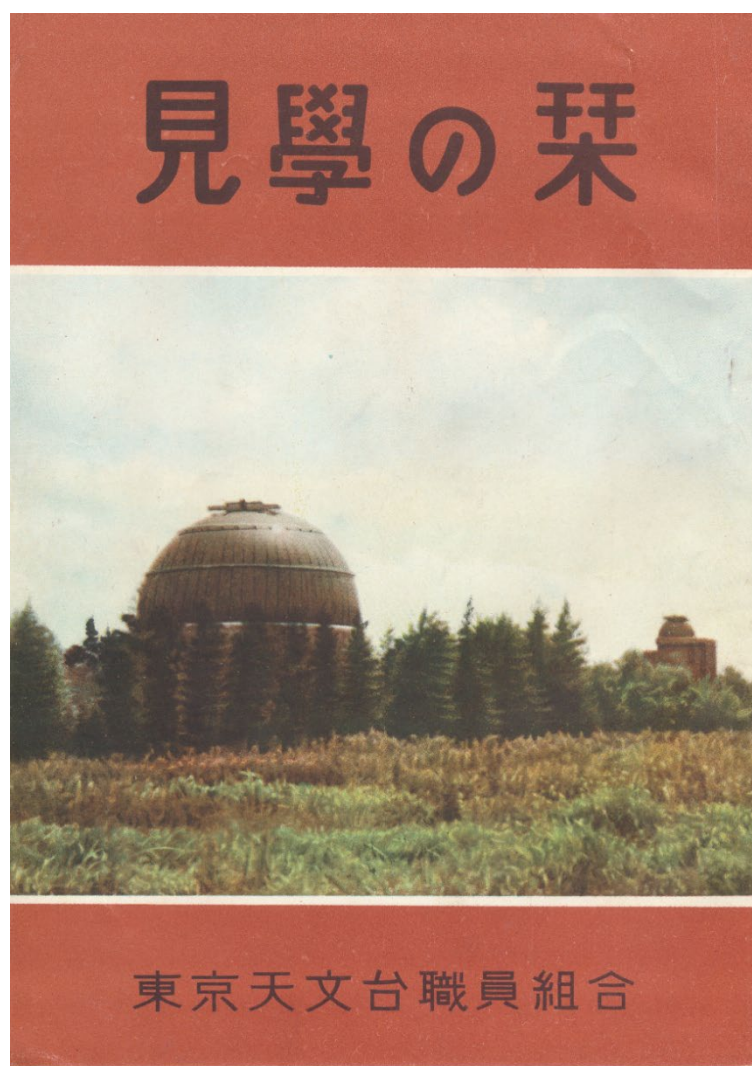


写真4 今回発見された昭和27年11月1日発行の見学の葉の表紙

アーカイブ室新聞250号(2009年11月12日発行)に昭和24年3月1日発行の東京天文台の「見学の葉」についての記事を書いた。そして、その10ヶ月ほど前のアーカイブ室新聞123号(2009年1月27日発行)に昭和26年4月1日発行の東京天文台の「見学の葉」を発見した記事を書いた。昭和24年3月1日発行の見学の葉が第3版、昭和26年4月1日発行のものが第5版となっていた。これらは東京天文台職員組合が発行したもので代表者として関口直甫氏の名前があった。そこで関口氏に第1版、第2版、第4版などをお持ちではないかと尋ねたが、新しいものが出るたびに古いものは捨てたそうでお持ちではなかった。この版の番号から見て昭和25年に第4版が出ていることがうかがえるが、昭和27年11月1日発行の東京天文台の「見学の葉」は第4版改訂版(写真1)となっている。ところが、今回また表紙の写真が違った昭和27年11月1日発行の東京天文台の「見学の葉」第4版改訂版が発見された。どうも奇妙である。おそらく今となっては、事情は分からないであろう。ほぼ60年前のミステリーとしておこう。しかしよく吟味してみると中の記事は全く同じで表紙だけが差し替えられているようなのだが、他にも1点だけ違いを発見し

た。それは天文台の建物配置図にわずかな違いがあった。

写真5が、第259号で紹介した構内図の面積の表記の部分、写真6が今回の「見学の葉」の構内面積の表記部分である。明らかに書体が異なっている上に面積が1ケタ違っている。第259号で紹介した方が正しい面積になっているし、活字体になっているからそちらが新しい版のように思える。どちらも表紙の写真を見ても歴史を感じさせる。

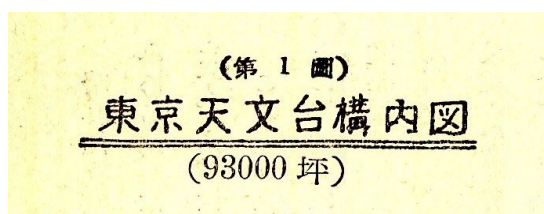


写真5 第259号の構内図の表記

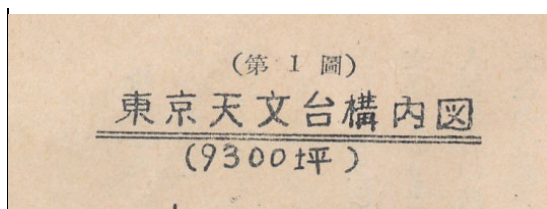


写真4 今回の構内図の表記

読者は何を騒いでいるのかということかもしれない。昭和27年11月1日発行の2種類の見学の葉が見つかったというだけのことであるが、こういったものが発行年月日を間違えて印刷するとは考えにくい。ミステリーということにしていきたい。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp